

## 21春闘 第3四半期決算について

JR東労組は、申11号2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れを行いました。ベースアップ6,000円・定期昇給(昇給係数4)実施・第二基本給制度凍結・65歳定年制導入を掲げています。会社は第3四半期決算を発表し、2020年度通期の業績予測を下方修正しました。理由はGOTのキャンペーンの中止、緊急事態宣言での年末年始輸送の激減、ワクチン製造の遅れが原因とされています。(単位:億円)

	2020.3実績A	2021.3計画B	2021.3計画修正C	対前年A-C	修正値B-C
営業収入	20,610	12,510	11,720	△8,890	△790
うち運輸収入	17,928	10,200	9,430	△8,498	△770
営業利益	2,940	△4,630	△5,080	△8,020	△450
経常利益	2,601	△5,010	△5,470	△8,071	△460
当期純利益	1,590	△3,640	△3,950	△5,540	△310

一方、コストダウン目標は順調に推移しています。「実績/計画」の値を見ると、第3四半期なので単純に考えて75%が計画通りとなります。営業費用のコストダウンは対目標68.5%と順調に推移しています。これは会社の掲げた目標に向かって全社員の努力の結果です。

	2021.3計画		第3四半期実績	実績/計画
	計画値	対前年		
営業費用	17,140	△530	11,740	68.5%
人件費	4,140	△304	2,854	68.9%
物件費	8,010	△301	5,151	64.3%
動力費	600	△45	393	65.5%
修繕費	2,970	△51	1,908	64.2%
その他	4,440	△204	2,848	64.1%
機構借損料等	830	△3	621	74.8%
租税公課	1,000	△6	749	74.9%
減価償却費	3,160	85	2,363	74.8%



ベースアップ6,000円満額実施するとコストは48億円です。人件費の削減計画の範囲内でベースアップを実施することは可能です。また株主配当は株主総会において年間100円と決まりました。3億7,700万株を発行していますので、377億円以上の株主配当金が支払われます。私たちは、コロナ禍において車内消毒や窓開けなど、安心・清潔を提供してきました。更に社会の変化に対応すべく変革2027に向き合っています。株主だけでなく、社員にも還元を求めるべく職場内で議論し、本部交渉団に声を届けていきましょう!

**社友会では会社と団体交渉することが出来ません!**  
**JR東労組に再結集し、21春闘を勝利しよう!**

